

施策・主な取組シート

基本方向	(4) まちのにぎわい・活力づくり	基本政策	4) 広域交流・国際交流の推進	
(1) 施策				
名称	2 7 国際交流の推進			
目標	姉妹・友好都市との交流を深めるとともに、国際性豊かな人材を育み、外国人も共に暮らしやすいまちづくりをめざします。			
現状と課題	国際交流の取組として、姉妹都市である米国オーシャンサイド市との交流や日本語教室の実施、留学生のホームステイ受入れなどを行う木更津市国際交流協会の活動を支援しています。 また、平成28年以降、4つの海外都市と友好都市の関係を結び、地域特性に応じた交流事業に取り組んでいます。(韓国：槐山郡、インドネシア共和国：ボゴール市、フィリピン共和国：ビスリグ市、台湾：苗栗市) 本市の外国人登録者数は2,141人(平成30年3月末現在)で、10年間で1.28倍に増加しており、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催や労働者不足による外国人労働者の雇用などにより、ますます在住・来訪外国人の増加が予想されます。 こうした状況から、地域社会の構成員として市民と外国人がお互いに認め合い、共に生きる多文化共生の地域づくりを進める必要があります。			
課題解決の方向性	多文化共生の地域づくりを推進するため、在住外国人のためのやさしい日本語による生活情報の提供や、異文化理解のための市民交流事業、木更津市国際交流協会の活動支援等に取り組めます。 また、姉妹・友好都市等との交流を通じ、日本人市民の語学力やコミュニケーション能力の向上など、国際感覚豊かな人材育成に努めるとともに、民間が主体となって取り組む外国からの労働力確保や観光客誘致を支援します。			
(2) 主な取組				
No.1	名称	国際交流活動の推進		
	担当課	企画課		
	概要	・市民レベルの国際交流を促進するため、木更津市国際交流協会を支援するとともに、連携しながら国際交流活動や市民ボランティアの育成を推進します。 ・姉妹・友好都市等との交流を推進し、次世代を担う子どもたちをはじめ、国際感覚を身に付けたグローバルな人材育成に取り組めます。また、市内事業所への技能実習生等の受入れや、観光施設等への外国人観光客誘致など、民間の取り組みを支援します。 ・在住外国人への日常生活支援のため、やさしい日本語による情報提供や日本語の学習支援、災害時の支援等の充実を図ります。		
施策目標の実現に関する指標	指標	現状値(H30)	目標値(H34)	設定の考え方
	国際交流事業の実施件数	224	250事業	現在、国際交流協会の事業がほとんどであるが、友好都市との交流やオリパラの取組みなど、年に6事業程度の活動を増やしていく。
	市民ボランティア登録者数	96	150人	在住外国人やインバウンドの増加などにより、今以上に市民ボランティアの必要性が重要となっており、セミナー等の実施や啓発活動により、語学・通訳・ホームステイボランティアを増やしていく。